

Vol. 70 2025

生活造形

SEIKATSU ZOKEI

生活造形

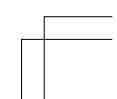
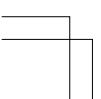
Vol.70 2025



京都女子大学

京都女子大学 | 生活造形学科

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY, DEPARTMENT OF APPAREL AND SPACE DESIGN



目 次

学科だより

教職員の異動・学生の受賞報告	1
“TES”認定おめでとう!	榎本 雅穂 8
令和5年度博士学位論文要旨	9
令和5年度修士学位論文要旨	13
令和5年度卒業論文題目	20
教育活動予算活動報告	24

ゼミ活動報告

花結びワークショップの開催	野村 栞夏 (青木研究室) 25
第2回学生アダプティブファッショショへの参加	池田 ひかり (青木研究室) 石川 紗弥 (青木研究室) 26
西舞鶴・吉原マップづくり	鶴岡 典慶 是永 美樹 27
Art Under the Shijo 四条通地下道アート展	是永 美樹 29
京都市営西野山団地改修工事 PJ 相談室 106+ カフェ107	是永 美樹 30
京町家お掃除ワークショップ	是永 美樹 32
江口ゼミ3回生プロジェクト活動報告	江口 淑子 33
映画ポスター制作プロジェクト ぴあフィルムフェスティバル 2024 in 京都 オリジナルポスター展	二瓶 晃 34
動物園内施設の展示デザイン 京都市動物園 おとぎの国 MIKKE ルーム	二瓶 晃 35

報文

親水性ポリウレタン樹脂のガラス転移温度と水膨潤率および水蒸気透過率との関係	望月 優菜 榎本 雅穂 白井 一彰 37
デザイン活動における脳内ネットワークの働きに関する考察	張紫薇 前川 正実 43
東寺五重塔内部の彩色塗装に関する考察	鶴岡 典慶 51

Kyoto Women's University

Journal of Apparel and Space Design

Vol. 70

February 2025

Contents

Relationship between the glass transition temperature of hydrophilic polyurethane resins
and the water swelling and vapor transmission rates

Yuna Mochiduki
Masao Enomoto
Kazuaki Shirai..... 37

Study on the Function of Brain Networks in Design Activities

Ziwei Zhang
Masami Maekawa..... 43

A study on the colored paintings inside the five-storyed pagoda of Toji temple

Noriyoshi Tsuruoka..... 51

京都女子大学生活造形学科「生活造形」投稿規定

2012. 7. 18 改定

2020. 1. 7 改定

1. 本誌は主として生活造形に関する総説、解説、文献紹介および報文、ノート、資料などを掲載する。なお原稿の分類は別表の通りとする。
2. 原則として、投稿者は筆頭著者あるいは共著者として生活造形学科専任教員を含むものとする。これ以外の場合は、専任教員の同意に加え、編集委員会の議を経るものとする。
3. 原稿掲載料は原則として無料とする。
4. 原稿の採否、修正、その他は編集委員会が決める。
5. 投稿原稿は、別途定める見本に従って割付けたA4版カメラレディ原稿とし、Word形式とPDF形式の2種類のファイルを提出する。本文のフォントは、和文では、明朝体10.5ポイント、一行23文字×40行の横2段組みとする。英文ではCentury 10.5ポイントを用いる。
6. 報文の頭初には表題、著者名、所属機関を和文および英文で記載する。表題は、和文：明朝体14ポイント、英文：Century 11ポイント、著者名と所属機関は、和文：明朝体11ポイント、英文：Century 11ポイントとする。
7. 報文には、本文が和文の場合は英文要旨を、目的・方法・結果・考察を含めて、本文中の内容を理解できるように平易な文で簡潔に書く。フォントはCentury 10.5ポイントとし、長さは150語程度とする。本文が英文の場合は和文要旨を添える。フォントは明朝体10.5ポイントとし、長さは400文字程度とする。
8. 原稿の記載は次の形式による。
 - (1) 和文原稿では、原則として当用漢字・新かなづかいを用いる。
 - (2) 単位は原則として国際単位(SI)系とする(JISZ8203参照)。
 - (3) 参考文献・引用文献の書き方は下記を参考とする。

(和文雑誌) 著者名. 論文タイトル, 雜誌名, 卷, 号, ページ(発行年)
(欧文雑誌) 著者名. 論文タイトル, 雜誌名, 卷, 号, ページ(発行年)
(単行本) 著者名. 書名, 発行元, ページ(発行年)
9. 図表の記載は次の形式による。

各図(写真も含む)、表には図4、表3のように表記し、簡単な表題をつけること。原稿には、図表の挿入箇所に関する指示を明示すること。
10. 校正は二校までは著者が行う。
11. 別刷は20部までは贈呈するので、希望者は二校時までに希望部数を届け出ること。
12. 投稿原稿データはEメール添付あるいはCDなどの媒体へ記録し、編集委員へ送付する。

種類	内容	最大頁数
a. 総説	一つの主題についての総合的な論説や記事で、提案、批評などを含むもの	8
b. 解説	研究、技術、社会情勢などに関する平易な解説	8
c. 文献紹介	国内、国外の研究論文、書籍などの紹介	4
d. 博士論文要旨	前年度の博士論文の要旨	6
e. 修士論文要旨	前年度の修士論文の要旨	6
f. その他	教職員の研究活動などに関する報告記事、会社・研究所などの見学記および学会行事などに関する報告など	4
g. 報文	生活造形に関係のある研究で、新しい価値のある結論あるいは事実を含むと認められるもので、本誌に掲載される前に他の学術誌に投稿あるいは掲載されていないものに限る	8
h. ノート	原著論文であるが、論文としては十分な結論を得るに至っていないもの	8
i. 資料	研究の資料として価値あるもので、上記の論文、ノートのいずれにも属しないもの	4

編集委員：前川 正実・鶴岡 典慶・榎本 雅穂・二瓶 晃

表紙デザイン：二瓶 晃

編集後記：

「生活造形」70号をお届けいたします。

本号では、学生の論文やデザインにかかる受賞や資格合格等、優れた研究活動に対する多数の報告とともに、令和5年度の博士論文・修士論文の要旨及び卒業論文題目を掲載し、学生の研究成果を紹介しております。

また、ゼミ報告では、学内での研究だけでなく社会との連携や協調を目指した様々な実践的取り組みが報告され、報文では本学科教員等の専門分野に関する論文が3題寄稿されました。

本号を通じまして、本学生活造形学科へのご理解が高まり、今後一層の御支援を賜れば幸甚でございます。最後に、出版に当たりご多忙の中ご協力いただきました皆様に対し、深く感謝いたします。

N.T

京都女子大学生活造形

令和7年2月20日 印刷

令和7年2月28日 発行

(会員頒布非売品)

編集責任者

前川正実

発行所

京都女子大学生活造形学科

京都市東山区今熊野北日吉町35

TEL 075-531-9018

印刷所

(株)北斗プリント社

京都市左京区下鴨高木町38-2

TEL 075-791-6125
